

高齢者の日常動作の苦勞を体験し、ホスピタリティ向上を目指す 秋田キャッスルホテルが社員研修の一環で「高齢者疑似体験会」を実施

2025 年 6 月 12 日（木）14：00～15：30／新入社員など約 10 名が参加

年齢やハンディキャップにかかわらず、どなたにもやさしい「エイジフレンドリーホテル」を目指す秋田キャッスルホテル（秋田県秋田市中通、代表取締役社長 岸本洋喜）は、社員研修の一環として、2025 年 6 月 12 日（木）に新入社員を対象とした「高齢者疑似体験会」を行います。この研修は昨年初めて開催し、今年で 2 年目。高齢化先進県である秋田県において、高齢者の身体的特徴を理解し、ホスピタリティの向上につなげることを目的としています。

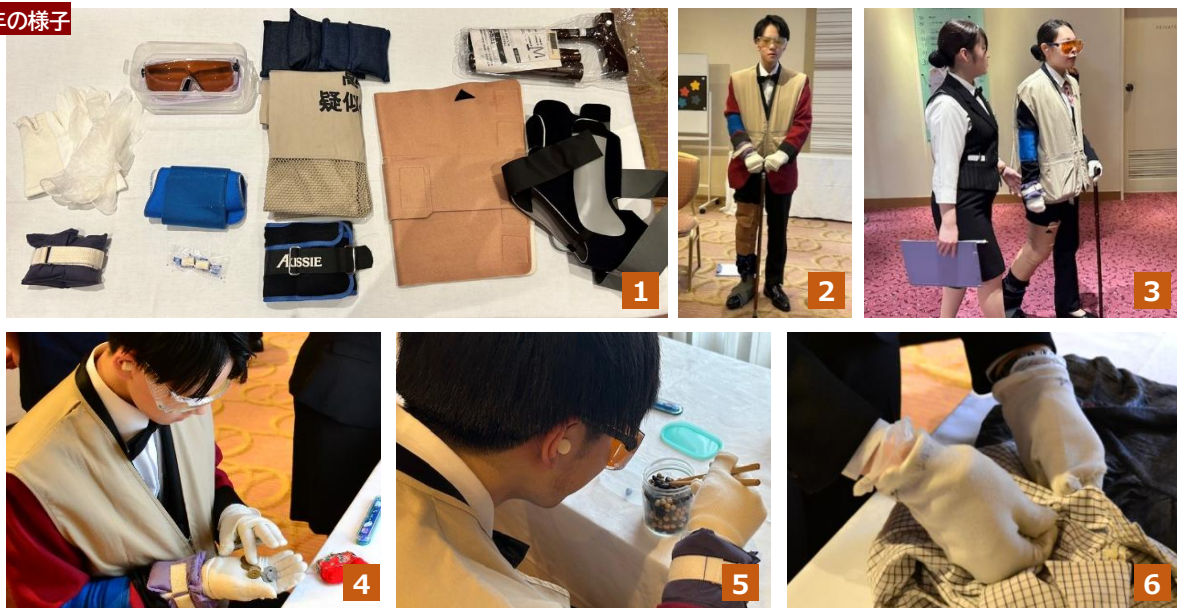
秋田キャッスルホテルは今後も、街の交流施設としてエイジフレンドリーホテルの活動を通じ、あらゆる人が快適に過ごせる場所を目指してまいります。

■ 高齢者疑似体験会 実施概要

- 【日 程】2025 年 6 月 12 日（木）14：00～15：30 終了予定
- 【会 場】秋田キャッスルホテル内 ※取材にお越しの方には、ご連絡の際に会場をお伝えいたします
- 【参加者】ホテルスタッフ約 10 名（新入社員および研修委員など）
- 【講 師】社会福祉法人松寿会（秋田県秋田市浜田）の介護福祉士の皆様
- 【内 容】75～80 歳の状態を体験できる疑似体験セットを装着し、高齢者疑似体験および介助の体験を行います。

歩行、書類記入、ペットボトルキャップの開け閉めなどの日常動作を疑似的に体験することにより、身体的特徴を理解し、高齢者の視点に立った接客を実践できる人材の育成を目指します。

※昨年の様子



- 1) 高齢者疑似体験セット。白内障の見え方を体験できる眼鏡や物がつかみにくい状態を再現する手袋など 2) 体験セットを装着した様子 3) ホテル館内を実際に歩いて検証 4) 小銭を取り出す体験では、がま口を開ける動作や小銭の判別に苦戦 5) 箸で豆をつかむ動作も、色の判別や細かな作業が難しい 6) ボタンの掛け外しにも一苦勞

■エイジフレンドリーホテルの取り組みについて

秋田キャッスルホテルは、秋田市が掲げる「エイジフレンドリーシティ構想」に賛同し、2014年に「エイジフレンドリーホテル宣言」をいたしました。訪れるすべてのお客様にとって「安全性・快適性・よく見え、よく聞こえること・敬意を払った接客マナー」が配慮された場所であると共に、ホテルならではの「楽しんでいただける要素」をプラスし、あらゆる人が生涯を通じて快適に利用できるホテルを目指しています。

活動にあたっては各部門のスタッフで構成される「エイジフレンドリー委員会」を立ち上げ、ハード（設備改修など）、ソフト（接客研修など）、プラン（イベント開催など）という3つの側面から様々な取り組みを行っています。

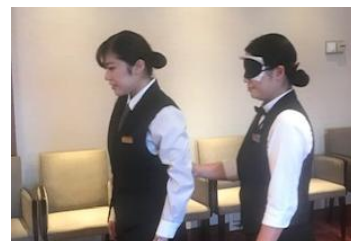
＜エイジフレンドリー委員会主催の社内研修＞

➤ 認知症サポーター養成講座（2015年～）

認知症について正しく理解し、ご本人やそのご家族を手助けする「認知症サポーター」養成講座を社内で定期的に開催しています。

➤ 視覚障がい者接客研修（2019年～）

視覚支援学校にご協力をいただき、視覚障がいのあるお客様への対応研修会を開催。アイマスクを付けての歩行体験、案内方法、料理の提供方法などを学んでいます。



＜取得認証など＞

- 令和4年度秋田市エイジフレンドリーパートナー表彰「エイジフレンドリー賞」受賞（2023年／2年連続）
- 国土交通省 観光庁が定める「観光施設における心のバリアフリー認定制度」に認定（2022年）
- 令和3年度秋田市エイジフレンドリーパートナー表彰「エイジフレンドリー賞」受賞（2022年）
- 秋田県バリアフリー推進賞「活動部門」受賞（2017年）
- 秋田市エイジフレンドリーパートナー第3号登録（2015年）

■秋田キャッスルホテル 会社概要

- 【会社名（商号）】株式会社秋田キャッスルホテル
- 【ホテル名称】秋田キャッスルホテル
- 【住 所】秋田県秋田市中通一丁目 3 番 5 号
- 【資本金】 1 億円
- 【開業年月日】1970年7月7日
- 【代表取締役社長】岸本 洋喜
- 【従業員数】450人（2025年4月1日現在）

